

露西亞は一八二一年の關稅表により鐵及鐵製品に禁止的關稅を賦課せり、且つ海外よりする原料鐵並に棒狀鐵は全然之か輸入を禁止したり其後幾多の變遷を経て以て今日に及へり。  
露國の現行關稅表は一九〇三年一月十三日露帝の裁下を経たるものにして一九〇六年三月一日より實施されしものなり。

概して露國の鐵關稅は他國に比して簡單なり。  
而して亦有名なる鐵產國なり、然かも軌鐵其他の鐵工作品は他國に比して多からず、依之觀是、露國も亦國內の鐵鑛か其儘外國に輸出するを避け成る可く、之を內國に於て生産するを期するも鐵工業の未だ發達せざるか爲め鐵を原料とする內國生産物を擧げて內國に於て生産するの策を建つるには未だ早しとなすにあるか如し。

翻て同國の銅に對する政策と對照するに、銅の關稅は鐵よりも遙に高し、之れ銅工業か鐵工業よりも發達して既に之に保護を加ふる必要あると、且つ銅の需要か鐵の如く緊切ならざるに依る可しと解するを正しとするか如きも、元來露國は歐洲の幼兒なり一切のこと未だ草創に屬す、關稅の如き必しも一定の計畫企圖の下に定められしものと見難き點多し、即ち銅鐵其他に於ても十把一束的に規定し去り眞に其國情、就中産業の狀態に適合せざるなり故に露國の國稅より直に露國政策の大綱を推斷するか如きは頗る早計に似たり。

## 七、伊 太 利

### 鐵鑛供給

伊太利は歐羅巴の大國中鐵石炭に最も乏しき國なり、殊に石炭に乏し、鐵鑛はエルバ島其他に多少之を産し近時に至るまで歐羅巴市場に或程度の聲價を有せり。

然るに自國鐵鑛を自國に於て製煉せんとする政策を執るに至り鐵産額か著く増大せしに拘らず

輸出は却て激減せり今此事實を表によりて現はす可し。

年 度	鐵 鑛 (滿倫鐵を含む)	輸 入	輸 出	銑鐵生産額
一八八八	二二二、一六三 <small>噸</small>	—	二〇六、〇三四	二四、七〇〇
一九〇一	二五六、五八九	二一、六四三	一一一、五九二	一五、八一九
一九〇七	五三六、八二六	—	二六、〇〇〇	一一二、三三二
一九〇八	五五六、九三二	—	三五、六五三	一一九、二四〇

エルバに次ぐ鐵鑛産地はギリオ島なるか其鑛質は何れも頗る良好なり。

最近に至る迄其量少く直に採掘し盡さるへしと信せられしを以て一八九七年政府は二十年間四〇〇、〇〇〇噸を採掘最高限度となせり、然るに近年の採鑛の結果其鑛量は従前想像されたるよりも遙に多しとの見込附きたるを以て政府も亦最高限度を六〇〇、〇〇〇噸に引上たり。

賦課金制度

Cop. d'arso 鑛を除きてはエルバ鑛山は國家の有に屬せしか一八九七年政府は Minerie Altiforni Elba なる會社に拂下たり、此會社は單獨にて毎年四〇〇、〇〇〇噸の多額を生産す。

伊太利に於て消費さるゝものには一噸〇、五〇フラン外國に輸出するものは一、五〇フランを國庫に納付すへきものとせり、此法律の結果輸出は激減し伊太利の製鐵業は著しく發達するに至れり。

鐵鑛は無税なるも銅鉛亞鉛其他の鑛石も亦無税なるを以て此點より鐵鑛の輸入を特に奨勵せりと云ふを得ること明なり、然るに其他の鐵製品關稅を觀るに其率決して輕しとなさず、其制度分類又銅其他の鑛製品に比して遙に整備せり、此點よりして伊國か製鐵業を關稅により保護するの意圖あるや明也、然らば其保護關稅の效果如何。

之を事實に徴するに一八九五年には原料鐵は九二一三噸を産するに過ぎざりしか一九〇五年に

は一八二四八噸、一九〇八年には一一九、二四〇噸に激増せるを視る、以て保護關稅の效果空しからざるを知るに足る、更に製鋼業は夫れ以上の成績を示し一八九五年には五〇、三一四噸なりしか一九〇八年には一四三、七六七噸に達したり。

## 八、白耳義

### 鐵鑛供給(鐵道運河)

歐羅巴の鐵工業國中白耳義は其消費國としての性質を最も多く具備す、

白耳義は鐵工業の盛大なるに比較する時は其鑛産額は至つて少し、然も今日の製鐵業の盛大を招致せしめたる理由は其地勢上、外國(佛、西、瑞、露、就中佛)より原鑛を輸入するに便利なること、石炭の豊富なるに依らすんは非す。

白耳義は通過貿易の國として有名なるか鐵鑛に關しても亦然り、試に地圖を披きて之を見るにルクセムブルグ、白耳義、佛蘭西、獨逸は相集團して存す、而して其何れの國も皆多少の鐵鑛産地を有す、然も政治上の分界線は經濟上殊に鐵鑛層の存在と何等相關する處なく、獨逸の製煉所か佛蘭西の鑛山を有する事可能なると同じく、白耳義人か佛蘭西に於て、佛蘭西人かルクセムブルグ公國に於て鑛山又は製煉所を有するに不可あるなし。

然るに之等三國は相異なる鐵鑛運送賃率を有す、而して白耳義及佛蘭西の賃率は獨逸に比し低廉なるか故に佛蘭西の鑛石にして直接獨逸の製煉所に送るよりも白耳義を経て送鑛するを利とするもの多く、又實際此の如くにして白耳義は通過貿易の利を壟斷しつゝあり、獨逸が白耳義より鐵鑛を輸入すること多きの理は茲に存す。

白耳義の鐵鑛供給は前述したるが如く佛蘭西及ルクセムブルグのミネットにより安全なるものなるが、此ミネット輸入をして更に容易ならしむるの道なきや否やか同國製鐵業並に通過貿易上研